研究分野	授業科目名	科目責任者
組織培養・免疫系分野	耳鼻咽喉・頭頸部・免疫形態学研究	原 浩貴

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患に関する新規治療法を開発するために，以下の（１）～（４）に関連する知識を修得し，基礎・臨床研究を実施する。
（１）鼻呼吸・嗅覚に関する鼻副鼻腔～上気道の構造および機能。
（２）アレルギー性鼻炎と睡眠障害の関連。
（３）聴覚に関する内耳・中耳の構造および機能。
（４）頭頸部癌における集学的治療の実際。

授業到達目標

（１）耳鼻咽喉・頭頸部外科疾患の診療のなかで疑問を持ち，仮説を立てそれを証明するための基礎実験を組むことができる。
（２）アレルギー性鼻炎と睡眠障害の関連を明らかにし新規治療法開発につながる基礎及び臨床研究を実施できる。
（３）聴覚障害の発症機序を理解し，新規治療法開発につながる基礎研究を実施できる。
（４）頭頸部癌における集学的治療を理解し，新規治療法開発につながる基礎研究を実施できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月	16:00 - 17:00	濱本 真一	鼻呼吸・嗅覚に関する鼻副鼻腔～上気道の構造および機能についての研究方法について
毎週	火	16:00 - 17:00	原 浩貴	アレルギー性鼻炎と睡眠障害の関連につき，基礎および臨床研究による機序の解明と新規治療法の開発について
毎週	水	16:00 - 17:00	福田 裕次郎	頭頸部癌における手術術式の決定法について
毎週	木	16:00 - 17:00	假谷 伸	聴覚に関する内耳・中耳の構造および機能についての研究方法について

評価方法

（１） １・２年次に中間発表へ出席する。
（２） ２年次に中間発表で発表する。
（３）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（４） １週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

中間発表の抄録作成時に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784525370510, 新耳鼻咽喉科学(改訂 11 版), 切替　一郎（原著）・野村 恭也（監修）・加我　君孝（編集）, 南山堂, 2013

参考書

ISBN-9784260002868, 中耳・側頭骨解剖アトラス, 須納瀬　弘, 小林　俊光, 医学書院, 2006
ISBN-9780781719941, The Larynx（3rd Edition）, Robert H. Ossoff・Stanley M. Shapshay・Gayle E. Woodson・James L. Netterville, Lippincott Williams & Wilkins, 2002

準備学習（予習・復習等）

（１）実験前に，参考書等を読み，約１時間程度の予習を行う。
（２）毎週，履修手帳に実験計画・内容を簡潔に記載する。
（３）実験終了後，その日のうちにデータを記録し，提出する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（１）卓越した研究成果をあげ，耳鼻咽喉・頭頸部外科学の深い学識を獲得する。
（２）学術研究が国民からの信頼，負託に応えるものであることを理解し，高い倫理観を身につける。

注意事項・メッセージ

大学院生として，内耳免疫・形態学を含む耳鼻咽喉・頭頸部外科学の学習，実験に熱心に取り組んで下さい。
今回の研究結果は英文で論文発表を行い，将来的に臨床応用可能となることが望まれます。